

水産無償資金協力(セントビンセント)
水産関連機材整備計画供与式の開催

2016年11月1日
在トリニダード・トバゴ日本国大使館
経済・開発協力班

1日、無償資金協力「水産関連機材整備計画」により整備された資機材の供与式典が、セントビンセント及びグレナディーン諸島のキャリアクア水産複合施設にて開催されました。キャリアクア、パジェットファーム(ベキエ島)、フレンドシップベイ(カヌアン島)、クリフトン(ユニオン島)、キングスタウン及びオウエアに所在する過去に日本の無償資金協力によって整備された水産施設の機能向上を図るため、新たな冷凍機器等の資機材を供与することにより、同国の漁業を支援し、経済開発を支援することを目的として、4億8千6百万円の無償資金が供与されたものです。

同式典には、先方からゴンザルベス首相、シーザー農業・林業・漁業・地域改革大臣、ゴンザルベス経済計画・持続可能な開発・産業・情報・労働大臣、ライアン農業・林業・漁業・地域改革省次官及びクルックシャンク・ハワード水産局長、我が方から岡田大使、池 JICA セントルシア事務所長、その他、セントルシア政府関係者や漁業関係者、メディア関係者が出席しました。

挨拶の中で岡田大使は、日本は無償資金協力に加えて水産分野の技術協力やトレーニングを組み合わせ、同国の持続的漁業を支援しており、同国の水産部門がカリブ地域で最も活発で持続性のある産業の1つとなることを期待している旨述べました。

ゴンザルベス首相は、長年の支援に対する日本国民と日本政府に対する謝意を述べ、また、国際捕鯨委員会における日本との協力関係にも言及しつつ、引き続き様々な分野で日本との協力関係を維持する旨述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を強めるため、様々な分野でセントビンセントに対する開発支援を実施していく考えです。

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



スピーチをする岡田大使(左)



キーボックスを受け渡す高橋プロジェクト・コーディネーター(左)と
受取るハワード・クルックシャンク水産局長(右)

お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp